

令和4年度 重点目標の取り組みと成果

はじめに

令和4年度も、新型コロナウイルス感染拡大とその対応に追われた1年となりました。特に上半期に感染拡大に伴ってやむを得ず中止や延期に踏み切ることもありました。しかし、完全に中止してしまうと、日々の暮らしが立ちいかなくなる事業もあります。そのため、安全対策や危機管理体制を強化し、分散勤務など知恵と工夫を凝らしながら事業の継続に努めました。また、オンラインツールを生かして、開催に踏み切った事業もありました。

また地区社協の事業では、下半期以降、コロナ前と同等の事業展開を検討する動きが出てきました。しかし3年間の休止によってできた空白によって、ノウハウの伝承が課題となってきています。

生活福祉資金の貸付では、通常の制度に加え、今年度もコロナに伴う休業や失業者への特例貸付に9月末まで対応しました。

児童館（放課後児童会）事業では、児童厚生員や児童クラブ支援員の確保に奔走しました。人材不足にならないよう、待遇改善と子育ての拠点としての魅力や働き甲斐のある職場づくりの推進に努めています。

令和4年度は、次の重点目標を掲げて事業を推進しました。

1 第4次地域福祉活動計画の推進

第4次地域福祉活動計画（計画期間：令和4～8年度）を円滑に進めるため、18の取組ごとに推進スケジュールを作成し、局内で進行管理会議を行いました。また、外部の有識者による地域福祉活動推進会議を開催し、取組の進捗状況を報告しました。

2 中期経営計画の推進

中期経営計画（計画期間：令和4～8年度）を円滑に進めるため、組織、財務、人材に関する26の実施項目の推進を図りました。また、事務局内で半期ごとに進行管理会議を行いました。

3 権利擁護事業の拡充

認知症高齢者や知的障がい者及び精神障がい者など、金銭管理等を支援する日常生活自立支援事業と合わせ、家庭裁判所の承認を得ながら財産管理等の支援を行う法人後見事業を実施しています。また、成年後見制度利用促進のための中核機関を受託し、相談や普及啓発を行いました。

4 重層的支援体制整備事業への協力

福井市が進める福祉総合相談体制と連携・協働し、地域づくりの体制整備、社会参加の支援体制整備の一部を担うべく、職員の相互研修の実施、地域づくり等についての情報交換を行いました。

令和4年度 事業報告

I 法人運営事業

< 拠点区分1 >

1 法人運営事業

公益性の高い法人として、透明かつ公正な運営を行うため、理事会で諸課題を協議するとともに、法人運営や会計処理を適正に行うため、法律、会計の専門家の協力を得て適正な運営に努めた。また、財政の健全化を図るため、中期経営計画の推進項目に取り組んだ。

(1) 三役会 (4回)

- ① 令和4年 6月3日(金) 福井市民福祉会館4階 ボランティアルームA
- ② // 9月20日(火) 福井市社会福祉協議会 会議室
- ③ 令和5年 1月30日(月) 日本料理ふく岡
- ④ // 3月6日(月) 福井市社会福祉協議会 会議室

(2) 理事会 (10回)

- ① 第1回 令和4年4月1日(金) 決議の省略の方法にて開催
 - 第1号議案 補欠の理事候補者の推薦について
 - 第2号議案 補欠の評議員候補者の推薦について
 - 第3号議案 第1回評議員会の開催について
 - 第4号議案 第1回評議員選定委員会の開催について
- ② 第2回 令和4年4月1日(金) 決議の省略の方法にて開催
 - 第5号議案 副会長の選任について
- ③ 第3回 令和4年5月13日(金) 決議の省略の方法にて開催
 - 第6号議案 補欠の理事候補者の推薦について
 - 第7号議案 補欠の監事候補者の推薦について
 - 第8号議案 補欠の評議員候補者の推薦について
 - 第9号議案 第2回評議員会の開催について
 - 第10号議案 第2回評議員選定委員会の開催について
- ④ 第4回 令和4年5月16日(月) 決議の省略の方法にて開催
 - 第11号議案 評議員選定委員の選任について
- ⑤ 第5回 令和4年6月13日(月) 福井市民福祉会館4階 ボランティアルームA
 - 第12号議案 補欠の評議員候補者の推薦について
 - 第13号議案 第3回評議員選定委員会の開催について
 - 第14号議案 令和3年度福井市社会福祉協議会事業報告及び決算の承認について

第15号議案 令和4年度資金収支第1次補正予算の同意について（説明のみ）
第16号議案 第3回評議員会の開催について
報告事項 副会長、理事及び監事の選任について
第1回評議員選定委員会の結果について
第4回評議員選定委員会の結果について
財産の売却について

- ⑥ 第6回 令和4年6月13日（月） 決議の省略の方法にて開催
第15号議案 令和4年度資金収支第1次補正予算（案）の同意について
- ⑦ 第7回 令和4年9月28日（水） 福井市民福祉会館3階 301号室A・B
第17号議案 補欠の評議員候補者の推薦について
第18号議案 第4回評議員選定委員会の開催について
第19号議案 第三者委員の選任について
第20号議案 令和4年度資金収支第2次補正予算（案）の同意について
第21号議案 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
第22号議案 第4回評議員会の開催について
報告事項 職務執行状況の報告について
- ⑧ 第8回 令和4年12月22日（木） 決議の省略の方法にて開催
第23号議案 補欠の評議員候補者の推薦について
第24号議案 第5回評議員選定委員会の開催について
第25号議案 令和4年度資金収支第3次補正予算（案）の同意について
第26号議案 第5回評議員会の開催について
- ⑨ 第9回 令和5年2月8日（水） 決議の省略の方法にて開催
第27号議案 補欠の評議員候補者の推薦について
第28号議案 第5回評議員選定委員会の開催について
- ⑩ 第10回 令和5年3月13日（月） 福井市民福祉会館4階 ボランティアルームA
第29号議案 令和4年度資金収支第4次補正予算（案）の同意について
第30号議案 補欠の評議員候補者の推薦について
第31号議案 第7回評議員選定委員会の開催について
第32号議案 定款の一部変更について
第33号議案 経理規程の一部改正について
第34号議案 地域子育て支援拠点事業運営要綱の廃止について
第35号議案 福井市ことばの教室事業運営要綱の廃止について
第36号議案 職員給与規程の一部改正について
第37号議案 地域福祉基金の一部処分について
第38号議案 令和5年度資金運用計画について
第39号議案 令和5年度事業計画及び資金収支予算（案）の同意について
第40号議案 令和4年度第6回評議員会の開催について

(3) 評議員会 (6回)

- ① 第1回 令和4年4月1日(金) 決議の省略の方法にて開催
第1号議案 補欠の理事の選任について
- ② 第2回 令和4年5月13日(金) 決議の省略の方法にて開催
第2号議案 補欠の理事の選任について
第3号議案 補欠の監事の選任について
- ③ 第3回 令和4年6月28日(火) 福井市民福祉会館 301号室A・B
第4号議案 令和3年度福井市社会福祉協議会事業報告及び決算の承認について
第5号議案 令和4年度資金収支第1次補正予算(案)の承認について
報告事項 第1回評議員選定委員会の結果について
第2回評議員選定委員会の結果について
- ④ 第4回 令和4年10月3日(月) 決議の省略の方法にて開催
第6号議案 令和4年度資金収支第2次補正予算(案)の承認について
- ⑤ 第5回 令和4年12月26日(月) 決議の省略の方法にて開催
第7号議案 令和4年度資金収支第3次補正予算(案)の承認について
- ⑥ 第6回 令和5年3月27日(月) 福井市民福祉会館 301号室A・B
第8号議案 令和4年度資金収支第4次補正予算(案)の承認について
第9号議案 定款の一部変更について
第10号議案 地域福祉基金の一部処分について
第11号議案 令和4年度事業計画及び資金収支予算(案)の承認について

(4) 評議員選定委員会の開催 (7回)

- ① 第1回 令和4年 4月1日(金) 決議の省略の方法にて開催
- ② 第2回 令和4年 5月20日(金) 福井市民福祉会館 ボランティアルームA
- ③ 第3回 令和4年 6月13日(月) 決議の省略の方法にて開催
- ④ 第4回 令和4年 9月28日(水) 決議の省略の方法にて開催
- ⑤ 第5回 令和4年 12月26日(月) 決議の省略の方法にて開催
- ⑥ 第6回 令和5年 2月10日(金) 決議の省略の方法にて開催
- ⑦ 第7回 令和5年 3月15日(水) 決議の省略の方法にて開催

(5) 監査の実施

監事監査 令和4年5月24日(火) 福井市社会福祉協議会 会議室

(6) 会計事務所による定期訪問監査 (4回)

(7) 顧問弁護士の配置

- (8) 職員総数 487名 (令和5年3月31日現在)
- 事務局職員 25名 (常勤15名、市派遣1名、非常勤9名)
 - 事業職員 462名 (非常勤職員)
 - 児童館 (館長、児童厚生員) 84名
 - 児童クラブ職員 (クラブ長、支援員) 292名
 - 自治会型デイホーム事業専任職員等 46名
 - 日常生活自立支援事業生活支援員 34名
 - 地域子育て支援拠点事業専任職員 3名
 - ことばの教室相談員 3名

(9) 自主財源の確保

① 社協活動の説明状況

- 地区自治会連合会 14回 (前年度 7回)
- 地区社協の総会など 3回 (前年度 0回)

② 会員会費の募集

会員会費募集の実績

区 分	実 績 額	前年度との比較
一般会費 (年額 500 円/世帯)	34,563,148 円	△137,627 円
賛助会費 (1口 1,000 円/個人)	9,002,600 円	△416,938 円
特別賛助会費 (1口 10,000 円/法人・企業)	6,544,000 円	△229,350 円
合 計	50,109,748 円	△783,915 円

※特別賛助会員加入企業数 559社 (前年度 561社)

③ 寄附金

186件 10,619,632円 (前年度 142件 473,563円)

(10) 福祉サービスに関する苦情解決事業の状況

苦情受付件数 30件 (前年度 19件)

〈 苦情申出人の属性区分 〉

サービス利用者家族	20件
自治会関係者	1件
地区社協役員	1件
福祉委員	1件
一般市民	3件
その他	1件
合 計	27件

〈 苦情の事業区分 〉

会員会費募集	1 件
地域福祉推進事業	1 件
自治会型デイホーム事業	1 件
ボランティア活動推進事業	1 件
放課後児童クラブ事業	19 件
地域子育て支援拠点事業	1 件
共同募金	3 件
合 計	27 件

〈 苦情の内容区分 〉

サービス、ケアの内容に関わる事項	9 件
職員の接遇に関わる事項	15 件
制度、施策、法律に関わる事項	5 件
その他	4 件
合 計	33 件

※ 1 件の苦情で複数の苦情内容に該当するものがあるため、苦情総件数と合計は一致しない。

(11) 広報啓発活動の推進

- ① 社協だより「まごころ」の発行 年 4 回 各 82,500 部(全戸配布)
- ② 点訳社協だよりの発行 年 4 回 各 33 部
- ③ 音訳社協だよりの発行 年 4 回 各 4 本
- ④ 社協のごあんない発行 年 1 回 19,000 部
- ⑤ ホームページ(<http://www.fukuic-shakyo.jp/>)での情報提供
- ⑥ Facebook(<https://www.facebook.com/fukuic.shakyo/>)での情報提供
- ⑦ YouTube (ふくみんチャンネル) での情報提供
- ⑧ 福井市社会福祉功労者表彰式 (市と共催)

開催日 令和 4 年 9 月 30 日 (金)

会 場 福井市民福祉会館 2 階 小ホール

- ・ 市長表彰 70 名
- ・ 市社協会長表彰 2 団体 124 名
 - 社会福祉施設功労者 67 名
 - 社会福祉協議会・社会福祉団体関係功労者 7 名
 - 永年勤続功労者 20 名
 - ボランティア功労者 2 団体 14 名
 - 福祉委員功労者 16 名

⑨ (12) 中期経営計画の推進

- ① 令和 4 年度の進捗状況 資料 1
実施計画に基づき、取り組み項目、目標値の実現に向けて取り組んだ。
- ② 進行管理会議の開催 2 回 (10/31、3/27)

(13) 人事評価の実施

事務局常勤職員に対して目標管理による人事評価を行った。

(14) 衛生委員会の開催

職場での新型コロナ予防対策、ストレスチェックの実施等について協議した。
(6回)

(15) ストレスチェックの実施

労働安全衛生法の規程に基づき、ストレスチェックを実施した。
実施期間 令和4年11月1日(火)～30日(水)

(16) 法人連携の推進

① 福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会への継続加入

② ふく福くらしサポート事業

近隣地域住民の生活上の困りごとに関する総合相談及び経済的支援を行った。

【支援実績】 7回(4名) 【前年度 2回(1名)】

【経済支援実績】 4回(76,592円) 【前年度 2回21,068円】

(17) 他団体・機関との連携の推進

福井刑務所との社会貢献作業についての相互支援協定に基づき、児童用車いすのメンテナンスを依頼した。(8月、3月)

2 基金運営事業

地域福祉基金の一部を取崩し、地区社協活動啓発ふれあい事業に充当した。

(1) 地域福祉基金運営事業

基金残高 358,218,991円(前年度 344,338,230円)

(2) 災害ボランティア基金運営事業

基金残高 1,886,306円(前年度 1,876,282円)

Ⅱ 地域福祉推進事業

< 拠点区分2 >

1 地域福祉活動推進事業

誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、地区社協を核に、福祉委員、民生委員児童委員、自治会などの関係者に対し、地域づくりに取り組む支援を行った。

今年度も新型コロナウイルスの影響を見据えて、福祉委員向けの研修動画2作品目にも取り組み、ICTを活用した地域福祉活動の推進を行った。

第4次地域福祉活動計画の事業を推進するため、取り組みスケジュールに沿って、16の取組について、企画、調整、実施を行った。

また、この活動計画に係る地域福祉活動推進会議を開催して、進行管理、評価を行い、次年度に向けての改善につなげた。

(1) 地区社協の育成支援

地域に根ざした地域福祉活動を推進する地区社協への、相談・助言等の支援を行うとともに活動費の補助を行った。

① 地区社協ブロック担当制による支援強化、地区社協会議への参加・支援

地区社協との連携を図るブロック担当職員(他業務と兼務)を配置し、各地区社協が行う各種地域福祉活動への助言や支援、情報提供を行った。新型コロナの影響もあったが、時間短縮や少人数制等を取り入れ、感染予防に努めながら地区社協事務局会議等に参加した。

ブロック地区社協担当者会議の開催 年12回

② ブロック会議等を通じた情報交換と活動の充実

③ 地区社協課題解決ミーティングの開催 8地区

地区社協役員・事務局と、地区社協の運営や各地区の福祉課題について意見交換し、今後の活動について検討した。

④ 地区社協運営・事業推進のための助成

地区社協育成補助金、地域福祉活性化事業助成金、福祉委員活動推進事業補助金、地区社協活動 啓発・ふれあい事業補助金、食事サービス事業補助金、自治会型デイホーム事業補助金、ブロック地区社協育成補助金

(2) ひとり暮らし高齢者等の見守り支援活動の推進強化

① 新任福祉委員委嘱式及び研修会の開催

地区社協単位で福祉委員委嘱式を行った。また、福祉委員の役割等を紹介した動画を作成し、その動画を活用した研修会を開催した。

② 福祉委員スキルアップ研修会

【活動計画No.17】

日時 令和4年9月27日(火) 13:30~15:30

会場 福井県自治会館 多目的ホール

内容 講義と演習「楽しみながらかわる支援のあり方

～自分を知る・雰囲気作り・傾聴の方法～

講師 福井県立大学看護福祉学部社会福祉学科 教授 吉弘 淳一 氏

③ 地域包括支援センター等関係機関との連携

地域包括支援センターと地区社協・市社協との連携を図った。一部、地域ケア会議に出席し、支援方法の協議やグループワークを行うなど、地域課題についての話し合いへの参加や、事業所対象の研修会に協力するなどした。

④ 地区社協単位で福祉委員と民生委員児童委員、自治会長、保健衛生推進員及び見守り関係者と研修、情報交換の場の設定 (46 地区 77 回)。 資料 2

ひとり暮らし高齢者等の見守り支援の強化やコロナ禍でもつながりを絶やさなため、福祉委員の基本的な役割についての研修や、支え合いマップを使用しての情報交換会、地域包括支援センターとの連携、地区に応じた福祉委員及び見守り関係者のスキルアップのための研修会の講座等を行った。

⑤ コロナ禍での工夫した自治会型デイホーム事業、食事サービス事業を通じた見守りの実施

⑥ 支え合いマップ作成のためのツールの提供及び活用の支援

福祉委員・民生委員児童委員等合同研修会でのひとり暮らし高齢者等の見守り支援のための媒体として、支え合いマップを希望する地区へ提供した。

令和 5 年度末現在、37 地区が支え合いマップを活用している。

⑦ 福祉委員活動についての動画制作及び活用の支援 【活動計画No.14】

令和4年9月27日（火）に開催した「福祉委員スキルアップ研修会」を収録した動画を制作し、市社協の公式YouTube「ふくみんチャンネル」で公開した。福祉委員活動をすすめる上での「心のもち方」や「人とのかかわり方」など、活動の際のポイントを分かりやすくまとめ、広く理解促進を行った。

⑧ 福井市あんしん見守りネットワークへの協力

地域団体（自治会、民生委員児童委員、地区社協、保健衛生推進員等）と各種協力事業者（新聞配達、運輸運送業者、ガス・水道事業者、介護サービス事業者等）による高齢者等への見守りネットワーク連絡会で行った調査回答に協力した。

(3) 地区社協連絡協議会、ブロック地区社協の育成支援

新型コロナの感染拡大防止に努め、理事会、連絡会、ブロック会議を通じ市社協と地区社協の連携を深めた。地区社協相互の情報交換を図りながら、地区社協連絡協議会を支援した。

① ブロック地区社協活動補助金の交付

② 地区社協連絡協議会理事会の開催 5 回 (4、5、8、12、3 月)

③ 広報紙「むすんでひらいて」の発行 3 回 (6、9、月)

④ 地区社協活動説明会 詳細版

開催日 令和 4 年 5 月 9 日 (月)

会場 福井市民福祉会館ボランティアルームA、301号室
内容 地区社協活動の基本説明
会費・共募について
啓発・ふれあい事業、食事サービス事業について
デイホーム事業について
地区社協会計事務について
地区社協事務について
地区社協千湯王ホームページについて
参加者 地区社協事務局担当者等

⑤ 地区社協会長情報交換会

開催日 令和4年7月8日(金)
会場 福井県立図書館
内容 「子ども福祉委員の取り組みについて考える」情報交換・意見交換
参加者 地区社協会長37名

⑥ 見守り活動に関する研修会

開催日 令和4年11月28日(月)
会場 福井市民福祉会館2階 小ホール
内容 講義と演習 テーマ「みんなの『楽しかった～!』が生まれる地域福祉活動」
講師 NPO法人 ハンズオン埼玉 西川 正 氏
参加者 地区社協関係者86名

(4) 地区社協活動 啓発・ふれあい事業

資料3

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、ふれあい福祉まつりを例年通り開催できなかったが、約半数の地区社協が展示物で地区社協活動の紹介を行った。地区社協の存在の周知、地区社協活動の理解、活動への参加を勧誘することを目的に、各地区社協で参加交流事業、広報事業を行った。

① ふれあい福祉まつり

新型コロナウイルス感染対策を行いながら27地区が開催し、5地区が展示のみで開催した。

② 交流・ふれあい事業

地区の実情に応じて、児童と高齢者の交流事業等を開催した。

③ 地区広報

各地区社協の活動を地区社協だよりやパネル製作で発信した。

(5) 各種地域福祉活動の推進

① SDGsを踏まえた企業・社会福祉法人等の社会貢献活動を広める 【活動計画No.6】

今年度は、「地域福祉活動発表会」(No.11)と兼ねて開催した。新たな取組の創出に向けた学びの場(機会)を提供し、啓発活動を行った。

また、「スマホサポーター養成講座」を開催し、新たな社会資源を開発につながる取組を行うと共に、ICTの活用をサポートする側の人材育成に取り組んだ。

② 中高生向けまちづくりワークショップの実施 【活動計画No.9】
 「みつける！考える！福祉のまちづくりワークショップ」

	学校名	実施日	参加者
1	日新小学校4年生(1クラス)	令和5年1月25日(水)	30名

③ スマホサポーター養成講座の開催 【活動計画No.2、13、14】

開催日 令和5年3月21日(火・祝)
 会場 福井市民福祉会館 301号室A・B
 内容 講義、操作体験
 講師 岡島 喜謙 氏、加地 理沙 氏、秋吉 桃果 氏
 (福井県視覚障がい者支援ネットワーク羽二重ねっと)
 協力 (株)サカイ・シルクスクリーン 社長 谷口 祥治 氏
 参加者 13名

④ 地域福祉活動発表会の開催 【活動計画No.11】

開催日 令和5年1月17日(火) Zoomによるオンライン開催
 内容 テーマ「福祉の専門性を活かした新たな地域福祉活動」
 基調講演、3つの事例発表、意見交換
 講師 福井大学国際地域学部 准教授 田中 志敬 氏
 事例発表者 社会福祉法人 健楽会 こしの渚苑 施設長 長谷川 弘光 氏
 特定非営利活動法人 くまっこクラブふくい
 副施設長 吉田 朋子 氏
 学童チーフ 坂部 彩季 氏
 社会福祉法人 福井市社会福祉協議会 事務局次長 小柏 博英
 参加者 45名

(6) 社会参加、交流の場

① 中央いきいきサロン 【活動計画No.10】

ふれあいや交流を目的としたサロンを開催し、在宅障がい者等の心身機能の向上や仲間づくりを図った。

内容	実施日時と回数、会場	参加者
茶話会、小物作り、クリスマス会等	毎週金曜日 13:00～15:30 実施回数 46回 ※中止2回(新型コロナウイルス感染拡大防止のため) 会場 ボランティアルームA	延べ310名 (前年度延べ264名)

② オープンサロン ふらっとベル

【活動計画No.10】

年齢や障がいの有無に関わらず、誰でも気軽に集うことのできる場として、ショッピングセンターの空きスペースを活用したサロンをショッピングシティ・ベルに設けた。

内容	実施日時と回数	備考
買物ついでの休憩、おしゃべり、ちょっとした困りごと相談等	毎週火～木曜日 13:00～16:00 実施回数 133回 ※中止8回（新型コロナウイルス感染拡大防止等のため）	延べ1,332名 (前年度延べ1,043名)

(協力いただいた社会福祉法人等)

一乗谷友愛会、おおた福祉会、新清会、竹伸会、タクティクス福井

⑧ (7) 第4次地域福祉活動計画の推進

第4次地域福祉活動計画の16の取組について、企画、調整、実施を行った。

資料4

① 地区社協での実施に向けた働き掛けや協議

② 地域福祉活動推進会議

開催日 令和4年12月12日(月)

会場 福井県社会福祉センター 第1、2研修室

内容 第4次地域福祉活動計画推進状況と令和5年度の予定他

⑧ (8) 重層的支援体制整備事業への協力

市福祉総合相談室よりそいと情報交換し、今後の取組や連携について協議した。

2 自治会型デイホーム事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、約10日間の中止期間や、地域の感染状況によっては会場毎での中止、また参加を控える利用者もいたが、「おうちでもデイホームセット」を活用し、ボランティアの協力を得ながら見守り活動を兼ねた介護予防、フレイル予防の普及啓発に取り組んだ。

また、デイホーム実施時は感染予防対策を十分に行いながら、安全で安心して参加できる環境づくりやデイホームメニューを行った。

(1) 実施地区と実施回数・実施箇所数

資料5

① 実施地区 49地区(51区域)で実施

② 実施回数・実施箇所数

実施回数 延べ 3,577回 (前年度 延べ 3,533回)

実施箇所数 456か所 (前年度 456か所)

③ 参加人数 延べ 47,952名 (前年度 延べ 46,811名)

利用者数 延べ 35,907名 (前年度 延べ 36,189名)

実人数 7,573名 (前年度 7,465名)

協力者数 延べ 11,939名 (前年度 延べ 10,465名)

その他 延べ 106名 (前年度 延べ 157名)

- ④ 参加率 65歳以上参加率 9.8% (前年度9.5%)
75歳以上参加率 12.8% (前年度13.3%)

(2) 実施内容

① 必須メニュー

- ・転倒骨折予防を目的とした「ふくいのズンドコ体操」と、認知症予防基本メニューを実施した。
- ・また、毎月「デイホーム健康情報」を作成し、参加者に配布して介護予防、健康づくりへの意識を高めた。

② 通常メニュー

- ・感染予防対策を講じながら、毎年実施する利用者アンケートも参考に、健康体操やレクリエーション・ゲーム・創作活動などを行った。
- ・デイホームの中止が相次ぐ中、自宅でも取り組める体操などを取り入れ、フレイル予防につながる内容を行った。

③ 防火教室、交通安全教室、消費者出前講座

消防局 防火・救急法教室	8地区	延べ	12回
警察署 防犯教室	12地区	延べ	27回
警察署 交通安全教室	9地区	延べ	16回
市自転車利用促進課 交通安全教室	16地区	延べ	81回
市消費者センター 出前講座	2地区	延べ	4回
市政出前講座	1地区	延べ	2回

④ 「おうちでもデイホームセット」を活用した見守り及びフレイル予防の実施

中止となった会場エリアの利用者や参加を控えている利用者を対象に、間違い探しや創作キットなどの脳トレ資料と健康情報、自宅でも取り組める体操などの資料を組み合わせ「おうちでもデイホームセット」として配布。見守り活動を兼ねた活動として行った。

実施地区	38地区
実施者	延べ 3,543名
協力者	延べ 508名

(3) 自治会型デイホーム事業運営委員会の開催

各地区社協単位で開催 49地区社協 計116回

(4) 会議・研修会の実施

① 専任職員定例会の開催 年8回

② 専任職員採用予定者研修

令和5年2月14日(火)～17日(金) 4日間 新規採用 4名

③ 専任職員研修会

第1回 開催日 令和4年7月25日(月) 参加者 42名

内容 講義・実技 「スマホ教室体験講座」

- 第2回 講師 福井市まち未来創造課、NTTドコモ
 開催日 令和4年9月26日(月) 参加者 44名
 内容 講義「フレイルの理解と予防について」
 講師 福井市フレイルトレーナー
 理学療法士 細川 昌樹 氏
- 第3回 開催日 令和4年11月28日(月) 参加者 42名
 内容 講義・実技「オーラルフレイルについて」
 講師 福井県歯科衛生会 笹木 明美 氏

④ 自治会型デイホーム協力者研修会

- 開催日 令和4年7月4日(月) 参加者 69名
 会場 福井県自治会館 2階 多目的ホール
 内容 講義・実技「身体的・社会的フレイル予防」
 講師 医療法人 健康会 嶋田病院I-WILL 理学療法士 細川 昌樹 氏

(5) 利用促進事業

DVD プレーヤー及びプロジェクター、スクリーン等を貸し出し、各種講座を開催した。また、教養講座として、介護予防のための体操講座、フラワーアレンジメント講座や和菓子講座等を開催し、利用促進を行った。

- 貸出実績 1回(前年度 4回)
 教養講座回数 24回(前年度 31回)

3 ふれあい食事サービス事業

希望するひとり暮らし高齢者等の健康増進、孤独感の解消、見守り活動を目的に49地区社協が実施主体となり、食事サービス事業を実施した。

コロナ禍ではあるが、以前のように公民館で調理したお弁当の配布や、状況に合わせて業者の弁当を配布した。

(1) 実施回数、食数 ※ () 内の数字は前年度(令和3年度)実績

実施地区	49 地区	
実施回数	延べ 440 回 (390 回)	
形態	配食	延べ 440 回 (389 回)
	会食	0 回 (1 回)
提供食数	延べ 14,198 食 (13,667 食)	
利用実人数	2,135 名 (2,243 名)	
協力者数	延べ 2,590 名 (2,378 名)	
運営委員会開催	延べ 152 回 (139 回)	

(2) 衛生管理・食中毒予防対策

使い捨て手袋、マスクを各地区に配布。

(3) 地域福祉リーダー研修会

- 開催日 令和4年6月2日(木) 参加者 69名
 会場 福井県自治会館 2階 多目的ホール

内 容 講義「食事を通してフレイルを理解しよう～お弁当の献立のポイント、衛生管理など～」

講 師 医療法人 健康会 嶋田病院 I-WELL 管理栄養士 西端 志保 氏

4 ボランティアセンター事業

若い世代のボランティア参加を促進するため、高校生向けのボランティア体験やバリアフリーチェックを実施し、新型コロナウイルスによって機会が激減しているボランティア活動への参加の機会を設けた。

また、新型コロナの感染拡大防止策を講じながら、ボランティアルーム等の利用促進やボランティア講座の開催により、活動の機会の提供を行った。

さらに、地域ぐるみで福祉教育を推進する時は、学校等と協議しながら感染予防対策を十分に行い、福祉体験プログラムの充実に努めた。

市総合ボランティアセンターの運営や連携について定期的な協議の場を設けた。

(1) ボランティアセンターの運営

① ボランティアセンターの利用件数 546 件 (前年度 675 件)

② ボランティアの需給調整

※ () は前年度(令和3年度)の数字

項目	件数	備考
1. ボランティア相談	246 件 (316 件)	
i ボランティア活動希望	50 件 (75 件)	
ii ボランティア派遣希望	105 件 (151 件)	
iii その他の相談	91 件 (90 件)	企画相談、預託等
2. ボランティア相談マッチング数	224 件 (303 件)	
i 活動紹介	146 件 (215 件)	
ii 情報提供	57 件 (74 件)	
iii 他機関紹介	4 件 (0 件)	
iv 広報	7 件 (0 件)	
v その他	10 件 (14 件)	

③ 福井市社協ボランティアセンター新規登録者数 2 名

④ ボランティア活動者の把握数

※ () は前年度の数字

個人	—	533 名 (447 名)
団体	271 団体 (276 団体)	10,606 名 (10,375 名)
合計	271 団体 (276 団体)	11,139 名 (10,822 名)

⑤ 物品の預託

個人・団体・企業等から、飲料水・タオル・使用済み切手・使用済みテレカ他の物品の預託を受入し、福祉施設・団体・ボランティア活動者等へ払い出した。

⑥ ボランティア講座の開催

ア 福祉教育サポーター養成講座

【活動計画 No.1、3】

開催日 令和4年7月12日(火)
会場 福井市民福祉会館4階ボランティアルームA
内容 福祉教育についての講義、目の不自由な方の講話、疑似体験、
福祉教育サポーターの実践報告
講師 富久尾 佳美 氏(オンライン Zoomによる参加)
参加者 10名(うち新規登録者10名)

イ ブックサイクルと絵本の読み聞かせ 【活動計画 No.5、9、10】

(ア) 企画ボランティア

開催日 令和4年7月29日(金)、10月26日(水)
会場 福井市民福祉会館4階ボランティアルームA
内容 当日設置のコーナーの検討、ボランティア情報紙の紙面作成
参加者 高校生延べ4名

(イ) 準備ボランティア

開催日 令和4年7月26日(火)、8月4日(木)、8日(月)、18日(木)、
19日(金)
会場 福井市民福祉会館4階ボランティアルームA、玉ノ江こども園
内容 当日に向けての絵本の消毒、本棚づくり、看板づくり等
参加者 高校生延べ20名
その他 絵本の寄附208冊(市内4企業等から協力)

(ウ) 当日ボランティア

開催日 令和4年8月28日(日)
会場 ショッピングシティ・ベル2階特設会場
内容 ブックサイクル、絵本の読み聞かせ、エプロンシアター等
参加者 高校生13名
来場者 約200名

ウ バリアフリー&ユニバーサルデザインチェック 【活動計画 No.1、9】

開催日 令和4年9月18日(日)
※同日開催「カーフリーデー2022 ふくい」の一環
会場 田原町駅・鷺塚針原駅・西別院駅・福大前西福井駅 他
内容 電車や徒歩で移動しながら、駅構内やバス停、周辺道路のバリア
フリー・ユニバーサルデザインチェック
参加者 15名

エ ボランティアコーディネーション研修 【活動計画 No.17】

(ボランティア受入スキルアップ研修、市総合ボランティアセンター共催)
開催日 令和5年2月9日(木)
内容 講義、グループワーク
講師 京都光華女子大学健康科学部医療福祉学科社会福祉専攻准教授
南 多恵子 氏
参加者 26名

⑦ ボランティア情報の発信

ア ボランティア情報紙の発行

回数 年6回発行

部数 3,000部 (ただし、社協だより発行月は3,600部)
 設置先 金融機関、公民館、地区社協、高等学校等 284か所
 イ ホームページ、Facebookによる情報提供 (随時)

- ⑧ 中高大学生のボランティア参加促進 【活動計画 No.5】
 福井大学国際地域学部1年生 (令和3年度学生) のPBLの一環で、学生向けのボランティア啓発チラシを協力して作成し、関係機関へ配布した。
 部数 1,500部
 配布先 市内中学、高校、大学等 52か所

- ⑨ あそびボランティア活動の推進 【活動計画 No.2】
 新型コロナウイルスの影響で休止していたボランティアグループ「昔あそび教え隊」の活動再開に向け、ブックサイクルと絵本の読み聞かせに参加する予定をしていたが、参加は見送りとなった。

- ⑩ お話し相手ボランティアのスキルアップ
 開催日 令和4年6月12日 (日)、令和5年3月19日 (日)
 会場 福井市民福祉会館4階ボランティアルームA
 内容 高齢者宅でのお話し相手ボランティアの事例を基に意見交換、情報交換、交流、今後の新たな活動についてグループワークなど
 講師 藤田 正一 氏 (ヒューマンサポートセンター・ネスト代表)
 参加者 延べ27名
 その他 ボランティアのモチベーションとレベルの向上、ボランティア同士のつながりを強化するため、オープンサロンふらっとベルで「お話し相手ボランティアのサロン」(10/9)を開催した。

- ⑪ 雪かきボランティア受入れ窓口の開設及びボランティア募集
 市内在住の障がい者や高齢者の非課税世帯で、同居又は近隣に親族・親戚等がなく自力での雪かきが困難な方を対象に12月1日から翌年3月15日まで開設した。 ※ () は前年度 (令和3年度) の数字

雪かきボランティア相談数	60件 (108件)
ボランティア活動希望者数	16名 (19名)
ボランティア依頼世帯数	12世帯<障がい者4世帯、高齢者8世帯> (9世帯)
ボランティア活動日数	5日 (9日)
ボランティア活動者数 (延べ)	34名 (75名)

- ⑫ ボランティア連絡協議会への支援
 ボランティアグループや個人ボランティアが加入し、情報交換や研修等を行っているボランティア連絡協議会の主催行事等の支援協力を行った。
 ア レクレーションボッチャ大会 (東日本大震災チャリティー)
 開催日 令和4年8月7日 (日)・令和5年3月5日 (日)
 会場 福井市民福祉会館2階 小ホール
 イ 第44回ユニークダンスパーティー (コンサート)
 開催日 令和4年12月4日 (日)

会 場 福井市民福祉会館 2 階 小ホール
ウ 特殊詐欺防止対策講演会
開催日 令和 5 年 2 月 19 日 (日)
会 場 福井市民福祉会館 3 階 301 号室

- ⑬ 福井市民福祉会館福祉関係ボランティア団体登録利用申請 (令和 5 年 3 月 31 日現在)
福井市民福祉会館福祉関係ボランティア団体登録 (50 団体)
登録団体の内、ボランティアルーム設置の保管庫の利用 (26 団体)
登録団体の内、ボランティアルーム設置のコピー機の利用 (21 団体)
ボランティアルーム利用人数 (延べ 7,313 名)

- ⑭ ボランティア活動保険
ア 加入受付数 5,968 名 (前年度 5,739 名)
イ ボランティア保険等の加入のための普及啓発

- ⑮ 車椅子の貸出 74 件 (前年度 53 件)

- ⑯ マスコットキャラクター「ふくみん」着ぐるみの貸出し 2 件 (前年度 2 件)

- ⑰ 「福井市ボランティアネット」の運営協力

(2) 福祉教育の推進

- ① 学校での福祉体験講座などへの支援協力
相談・コーディネート等 106 件 (前年度 116 件)

- ② 学校での福祉体験講座 (講師) 延べ 81 校 (前年度 90 校)

- ③ こども園での福祉体験講座 (講師) 1 園 (前年度 0 園)

- ④ 企業での福祉体験講座 (講師) 延べ 2 社 (前年度 0 社)

- ⑤ 中高生向けまちづくりワークショップの実施 【活動計画No.9】
※詳細は 11 ページに掲載

- ⑥ 教職員目的別研修 (市教育委員会との共催)
開催日 令和 4 年 8 月 18 日 (木)
会 場 福井県立盲学校
内 容 講義、校内見学、実践事例
講 師 岡島 喜謙 氏、久保 律子 氏 (福井県立盲学校教諭)
参加者 12 名

- ⑦ 子ども福祉委員事業の実施 【活動計画No.3】
子どもたちに地域の見守り活動に参加してもらうことで、お年寄りの存在や大切さを感じてもらうことを目的に、任命式や体験学習、高齢者福祉施設利用者と

の交流や地域の高齢者宅の訪問を行った。

また、宮ノ下地区では、児童・保護者（有志）と地区社協役員で正月飾りのプレゼント作りを行った。

実施校 鶉小学校 4年生（1クラス）

期 間 令和4年10月～令和5年1月

内 容 任命式、事前学習（講話や体験学習）、高齢者施設利用者とオンライン（Zoom）交流、地域の高齢者宅の訪問

協力者 鶉小学校、鶉・宮ノ下地区社協、福祉委員、民生委員児童委員、高齢者福祉施設宝珠苑（利用者・職員）、保護者、地域の高齢者

⑧ 福祉教育サポーター懇談会

開催日 令和5年3月24日（金）

会 場 福井市民福祉会館4階ボランティアルームA

内 容 令和4年度の活動報告と懇談

参加者 3名

(3) 関係機関団体との連携、協働活動の推進

福井市総合ボランティアセンター運営委員会への参加

第1回 開催日 令和4年5月24日（火）

内 容 減免認定団体の審査、総合VC令和3年度事業報告、令和4年度事業計画

第2回 開催日 令和4年11月28日（月）

内 容 減免認定団体の審査、総合VC4～10月事業報告、今後の事業予定

第3回 開催日 令和5年3月1日（水）

内 容 減免認定団体の審査、総合VC事業実施状況、次年度の事業計画

(4) 災害への対応

①南越前町災害ボランティアセンターへの職員派遣 延べ29名（実人員11名）

派遣期間：令和4年8月8日（月）～28日（日）

活動場所：南越前災害ボランティアセンター（旧今庄中学校）など

② 福井市災害ボランティアセンター連絡会への参画

第1回 開催日 令和4年6月1日（水）

内 容 令和3年度事業報告と令和4年度事業計画、令和4年度災害ボランティアセンター訓練について 他

第2回 開催日 令和4年11月1日（火）

内 容 令和4年8月南越前町での大雨対応について 他

第3回 開催日 令和5年3月22日（水）

内 容 令和4年度の事業報告と令和5年度事業計画（案）について

③ 研修会への参画

・内部研修会（構成団体対象 市防災士の会）

- 開催日 令和4年5月14日(土) 10:30~12:00
 内容 災害ボランティアセンターの運営と役割、開設運営訓練
 会場 福井市総合ボランティアセンター交流ひろば
 ・災害ボランティアセンター連絡会ワーキング
 開催日 令和5年3月7日(火) 18:30~20:00
 内容 令和4年8月大雨災害における勝山市災害ボランティアセンター
 連絡会の動きについて
 会場 福井市総合ボランティアセンター交流ひろば

5 共同募金配分金事業

福井市共同募金委員会からの助成を受け、市社協で広報啓発事業や見守り支援事業、地区社協では地域福祉活性化事業などを行った。

(1) 広報啓発事業

- ① 社協だより「まごころ」の発行
年4回 各82,500部(全戸配布)
- ② ボランティア情報紙の発行
回数 年6回発行 ※6回中、4回分を発行
部数 3,000部×2回、3,600部×4回

(2) 見守り支援事業(8~9ページ参照)

- ① 福祉委員設置助成
福祉委員設置地区 49地区(1,571名)
福祉委員活動推進費補助 1名につき2,000円
- ② 福祉委員スキルアップ研修会の開催
※詳細は8ページに掲載
- ③ 地域支え合いマップ作成
地区の要望に応じて、地域支え合いマップを作成した。
- ④ オープンサロンふらっとベルの開催
※詳細は12ページに掲載

(3) 地域福祉活性化事業助成 685,000円 前々年度大口募金実績額に基づき、地区社協に助成した。

(4) 歳末たすけあい配分金事業

- ① 障害者ふれあい交流事業助成
- ② 地域支え合いマップ作成(再掲)

(5) 緊急災害援護配分金

0円(火事見舞い10,000円×0件)
 136,880円(令和4年8月大雨福井県災害義援金5件)

6 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者等に対し、福祉サービス利用援助、日常的金銭管理及び書類等の預かりを行い、判断能力に不安のある方々の地域生活を支援した。精神障がい者や触法障がい者、認知症の親と知的（精神）障がい者の同居世帯に対する相談支援等、複合的に課題を抱えた困難ケースについても関係機関と連携して対応した。

(1) 利用状況

① 契約件数累計 591 件(うち令和4年度の新規契約件数 19 件)

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計（前年度）
340 件	99 件	143 件	9 件	591 件(572 件)

② 現利用者件数 141 件（令和5年3月31日現在）

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計（前年度）
50 件 (25)	35 件 (8)	55 件 (26)	1 件(0)	141 件(146 件)

※利用者のうち生活保護受給者 59 名 (41.8%)

※（ ）内は生活保護受給者

(2) 相談状況

本事業の利用に関するもの				合計（前年度）
認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	
1,458 件	635 件	1,408 件	20 件	3,521 件 (3,968 件)

(3) 成年後見制度への移行状況

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計（前年度）
3 件	0 件	3 件	0 件	6 件 (7 件)

(4) 広報啓発活動

社協だより「まごころ」及び本会ホームページに事業広報掲載

7 生活福祉資金貸付事業

失業者世帯や低所得世帯を対象に総合支援資金や教育支援資金等の生活福祉資金貸付制度に関する相談を受けた。引続き新型コロナ特例貸付のため臨時相談員を配置し、所得が減少した世帯の相談を受付けた（9月末まで）。また、県社協による滞納案件の償還指導等に協力した。

(1) 通常貸付

相談件数	延べ	244 件	（前年度	114 件）
申請件数	延べ	20 件	（前年度	11 件）
貸付件数	延べ	17 件	（前年度	8 件）
市内貸付件数		17 件	（前年度	11 件）
（内訳）総合支援資金		0 件	（前年度	0 件）

福祉資金	3件	(前年度 4件)
緊急小口資金	9件	(前年度 5件)
教育支援資金	5件	(前年度 1件)
臨時特例つなぎ資金	0件	(前年度 1件)
貸付総額	5,499,000円	(前年度 2,916,600円)

(2) 新型コロナ特例貸付 (9月末まで)

貸付件数	994件	(前年度 2,294件)
貸付総額	301,558,000円	(前年度 927,392,000円)

8 法人後見事業

本会が法人として成年後見制度に基づく成年後見人等を受任し、判断能力が不十分な方の財産管理や身上監護を行った。

(1) 利用状況

① 令和4年度 受任件数 0件(令和4年度の新規受任はなし)

成年後見	保佐	補助	合計
0件	0件	0件	0件

② 現受任件数 3件 (令和5年3月31日現在)

成年後見	保佐	補助	合計
2件	1件	0件	3件

(2) 相談件数 8件 (一般的な制度についての相談、受任に関する相談等)

(3) 受任調整件数 0件

⑨ ふくい嶺北成年後見センター

成年後見制度の利用促進にかかる地域連携ネットワーク作りの中核機関として、ふくい嶺北圏域7市町(福井市・勝山市・鯖江市・永平寺町・池田町・南越前町・越前町)から共同で委託を受け、令和4年6月に「ふくい嶺北成年後見センター」を開設した。

(1) 相談業務 (二次相談窓口)

① 市町別相談件数 延べ人数 309名、実人数 127名

市町内訳	福井市	勝山市	鯖江市	永平寺町	池田町	南越前町	越前町	その他
延べ人数	201名	4名	30名	7名	7名	1名	35名	24名
実人数	92名	4名	10名	1名	3名	1名	6名	10名

②相談者種別（初回のみ）127名

相談者	人数
行政	59名
親族	33名
ケアマネジャー	8名
後見人等	6名
本人	4名
その他	17名

③相談内容種別

内容	人数
制度利用検討	145名
不安の解消	62名
制度説明	38名
申立て手続き支援	31名
専門職後見人支援	23名
相続	10名

(2) 適正運営委員会の開催（受任候補者の調整）

開催日 毎月第3水曜日 14:00～16:00

取扱件数 27件

市町内訳	福井市	勝山市	鯖江市	永平寺町	池田町	南越前町	越前町
弁護士	7件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
司法書士	5件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
社会福祉士	12件	2件	2件	0件	0件	0件	0件

※複数推薦した事案があるため、職種ごとの合計と取扱件数は一致しない。

(3) 普及・啓発

出前講座 11回（延べ参加者数244名）

広報活動 ふくい嶺北成年後見センター専用ホームページ作成
パンフレット作成、「成年後見制度あんしんガイド」作成

メディア FMふくい「ケアモア」、福井新聞

(4) 担い手の育成

令和5年度 市民後見人養成講座の開講に向けて、構成市町担当者とのワーキングを開催した（計4回）

(5) 地域連携ネットワークづくり

ふくい嶺北成年後見センター開所式

令和4年6月3日(金)

ふくい嶺北成年後見制度利用促進連携協議会

令和5年2月9日(木)

令和4年度 福井県成年後見制度利用促進ネットワーク会議

令和5年3月6日(月)

Ⅲ 子ども・子育て支援事業

< 拠点区分3 >

1 児童館事業

地域における児童健全育成の活動拠点としての機能強化を図るため、全児童館において土曜日を中心に季節行事、伝統行事及び地域と連携した行事、運動スポーツ、造形創作を年10回以上実施した。また、児童館だよりの自治会回覧や児童館ホームページを通じて児童館の周知を図った。(※★は、げんキッズ育成事業でも実施)

(1) 児童館の管理運営 (合計 24 館)

資料6

つばき、ひまわり、さざんか、とちのき、もくせい、とまと、すいせん、すずらん、ふじ、もみじ、こすもす、くすのき、たちばな、たんぼぼ、すみれ、どんぐり、くるみ、つくし、すぎのこ、まきやま、たけのこ、さくらんぼ、ちゅうりっぷ、まつのき

- | | |
|--------------|--|
| ① 職員体制 | 館長 24 名、児童厚生員 48 名、代替厚生員 1 名 |
| ② 開館日 | 月～土曜日(日曜日、祝日及び年末年始は休館) |
| ③ 開館時間 | 12:00～18:00 (長期休業中は 8:30～18:00) |
| ④ 利用者数 | 延べ 245,379 名 (前年度 270,116 名) |
| | (内訳) 一般来館者数 延べ 21,307 名 (前年度 13,761 名) |
| | 児童クラブ利用児童 延べ 224,072 名 (前年度 256,355 名) |
| ⑤ 地域連携行事参加者数 | 延べ 37,692 名 (前年度 27,352 名) |
| ⑥ ボランティア活動者数 | 延べ 391 名 (前年度 243 名) |

※げんキッズ育成事業の実績も含む。

(2) 児童館運営委員長会議 ★

開催日 令和4年5月30日(月) 13:30～14:30

会場 福井市民福祉会館4階 ボランティアルームA

内容 運営委員会の役割について、令和3年度事業実施状況、令和4年度事業の取り組みについて、運営に関する質問・意見について

(3) 児童館長会議の開催 (6回) ★

開催日 令和4年4月19日(火)、6月14日(火)、9月13日(火)、
11月1日(火)、

令和5年1月24日(火)、3月7日(火)

(4) 児童館職員研修の実施 ★

① 児童館館長研修会

開催日 令和4年9月13日(火)

会場 福井市民福祉会館4階 ボランティアルームA

内容 水災害のリスクを学ぼう

講師 福井市河川課 渡辺 啓一 副主幹

福井市河川課 金木 陽平 主事

福井市危機管理室 山本 晴久 主幹

参加者 館長、クラブ長 26 名

② 児童館職員現任研修会

- ・第1回 開催日 令和4年7月5日(火)、6日(水)
会 場 福井市民福祉会館2階 小ホール
内 容 救急救命講習会
講 師 日本赤十字社 福井県支部 赤十字講習指導員
木下 新一 氏、櫻谷 君代 氏
参加者 館長、厚生員、支援員125名
- ・第2回 開催日 令和4年9月20日(火)
会 場 福井市民福祉会館2階 小ホール
内 容 講義「気がかりな子への対応について」
講 師 福井大学子どもこころの発達研究センター
診療部 鈴木 静香 氏
参加者 館長、クラブ長、厚生員55名
- ・第3回 開催日 令和4年10月25日(火)
会 場 福井市民福祉会館2階 小ホール
内 容 講義「苦情への対応 ～苦情の理解と未然防止に向けて～」
講 師 仁愛大学人間生活学部子ども教育学科
准教授 青井 夕貴 氏
参加者 館長、クラブ長、厚生員 81名
- ・第4回 開催日 令和5年2月21日(火)
会 場 福井市民福祉会館2階 小ホール
内 容 講義・実技 児童館だからできる子どもの可能性を
引き出す運動遊びプログラム」
講 師 一般社団法人ルーデンスジャパン 代表理事 山田 恭平 氏
参加者 厚生員 81名

(5) 児童館事業の広報活動 ★

- ① 児童館だよりの自治会回覧
- ② 市社協ホームページで各児童館活動紹介
- ③ 児童館のしおり「遊びにいきよう！みんなの児童館」発行
- ④ 保健衛生推進員を通じた子育てひろばチラシの配布

(6) 施設の修繕 ★

たんぼぼ児童洋式トイレ改修工事他 16件

(7) げんキッズ育成事業の運営

小学校の余裕教室を活用して学校内で児童館事業を実施し、小学生を対象とした地域の放課後の居場所づくりを行った。

- ① 開設場所 春山小学校「さくらじどうかん」、足羽小学校「あじさいじどうかん」、旭小学校「さつきじどうかん」、麻生津小学校「あさがおじどうかん」
- ② 職員体制 館長4名、児童厚生員8名
- ③ 開館日 月～土曜日(日曜日、祝日及び年末年始は休館)

- ④ 開館時間 12:00～18:00（長期休業中は8:30～18:00）
- ⑤ 利用者数 延べ 39,896名（前年度 20,959名）
 （内訳）一般来館者数 延べ 1,881名（前年度 1,038名）
 放課後児童クラブ利用児童 延べ 38,015名（前年度 19,921名）
- ⑥ 地域連携行事参加者数 延べ 7,761名（前年度 1,881名）
- ⑦ ボランティア活動者数 延べ 74名（前年度 47名）

(8) 移動児童館の運営

もくせい児童館を拠点として、東足羽3地区の公民館、集会所等を利用して児童厚生員が出向いて移動児童館事業を実施した。

巡回会場	一乗、上文殊、六条
実施回数	延べ 4回（前年度 2回）
利用児童数	延べ 53名（前年度 23名）

2 放課後児童クラブ事業

児童館、小学校内に放課後児童クラブを開設し、保護者が共働き等の理由で放課後家庭にいない児童を預かり、生活の支援を行った。新型コロナウイルス感染拡大による小学校の臨時休業に合わせた臨時休会を行った。

(1) 放課後児童クラブの開設 児童館 28クラブ、小学校内 1クラブ

(2) 登録児童数 1,411名（前年度 1,444名）

(3) 支援員研修会

開催日 令和4年6月8日（水）、16日（木）7月1日（金）10:00～11:30
 会場 福井市民福祉会館2階 小ホール
 内容 本の読み聞かせ研修
 講師 福井市みどり図書館司書
 参加者 支援員 182名

(4) 放課後児童支援員認定研修の受講 18名（累計 233名）

(5) 障がい児等の専門カウンセラーの派遣
 派遣件数 77件（前年度 74件）

(6) 不審者対応
 全館で緊急通報装置のメンテナンス、作動訓練

(7) 令和5年度の入会希望児童の調整

つばき児童クラブ（社南地区）、たんぽぽ児童クラブ（和田地区）において、定員を上回ったため、入会の抽選を行った。抽選を外れた児童は、同校区内の他の児童クラブに入会した。

(6) 事務用パソコンの増設

児童クラブの事務を効率的に行うため、各児童クラブにパソコンを増設した。

3 地域子育て支援拠点事業

子育て中の親子が気軽につどい、一緒に遊びながら交流ができる場所として、福井市清水健康管理センター内で子育て支援室「赤とんぼ」を運営している。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者の受け入れ人数と時間を制限して再開した。

(1) 実施内容

主に3歳までの乳幼児とその保護者が気軽に集う交流の場を設けるとともに、専任職員3~4名を配置し、相談支援などを行った。

(2) 開催日 毎週月~金曜日 10:00~16:00
(10:00~正午に6組、13:00~15:00に4組を受け入れ)

(3) 開催日数 年間239日

(4) 利用者数 延べ2,517名（前年度 3,304名）

(5) 行事内容 令和4年 5月20日（金）ベビーヨガ
// 6月23日（木）働くための出張相談会
// 6月30日（木）がっちゃんのお話会
// 7月7日（月）七夕コンサート
// 7月8日（火）ちょっと気になる子どものはなし
// 7月15日（金）何でも相談会
// 7月20日（水）美尻トレーニング
// 8月30日（火）働くための出張相談会
// 9月2日（金）入園に向けて聞いてみよう
// 9月9日（金）保育カウンセラー訪問
// 9月28日（水）ママもリラックス
// 9月30日（金）チャイルドシートのはなし
// 10月12日（水）おうたのマッサージ
// 10月18日（火）栄養士さんに聞いてみよう
// 10月26日（水）孫育て講座
// 10月27日（木）ハロウィン
// 11月10日（木）ちょっと気になる子どものはなし
// 11月17日（木）がっちゃんのお話会
// 11月24日（木）何でも相談会
// 12月6日（火）働くための出張相談会
// 12月9日（金）ほめ方教室

// 12月22日(木) クリスマス会
 令和5年 1月20日(金) 保育カウンセラー訪問
 // 2月1日(水) ベビーヨガ
 // 2月2日(木) 働くための出張相談会
 // 2月10日(金) 美尻トレーニング
 // 3月23日(木) ママもリラックス
 // 3月13日(月)～17日(金) お楽しみ週間
 毎月 お誕生カード

(6) 相談件数 57件(前年度 93件)

4 子育てひろば事業

児童館で、乳幼児とその家族の方々の遊びの場、交流の場として子育てひろばを開催した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事前電話申込制にして利用者の受け入れ人数を制限しながら実施した。

- (1) 開催日 毎週木曜日 10:00～11:30 (小学校の長期休業期間は除く)
- (2) 開催数 995回(前年度 568回)
- (3) 利用者数 3,997名(前年度 2,772名)

5 ことばの教室事業

ことばや発達が気になる就学前の幼児とその保護者を対象に『ことばの教室』を開設し、ことばの発達の遅れや発音等について、言語聴覚士や保育士による相談や継続的な療育を行いながら、医療機関受診や福祉サービス利用など、関係機関につなげた。また、必要に応じて、関係機関と情報交換や連携をとりながら適切な支援を行った。

- (1) 開設日 月～木曜日 9:00～17:00 (12/29～1/3は除く)
第1・第3土曜日 9:00～12:00
- (2) 利用者数 延べ891名(前年度1,039名)
実人数167名(前年度191名)
- (3) 情報連携会議 令和4年5月23日(月)、12月26日(月) 13:30～15:00

IV 駐車場運営事業

< 拠点区分4 >

福井市毛矢3丁目7番4号の土地を貸駐車場（5台分）として賃貸した。

駐車場賃貸収入 5台分 240,000円（前年度(令和3年度) 241,677円)

V 自動販売機設置運営事業

< 拠点区分5 >

福井市民福祉会館内 2台 売上 144,284円（前年度(令和3年度) 107,741円)

上記のほか、株式会社ウララコミュニケーションズ、湊公民館、啓蒙公民館、株式会社カワカミパワーシステムの4ヶ所に自動販売機を設置いただき、売上の一部25,149円を寄附していただいた。

VI 関係機関団体への支援・協力

1 各種委員会・会議への参加協力(出席者)

- ・福井県社協副会長（会長）
- ・福井県内社協会長会監事（会長）
- ・福井県共同募金会理事（副会長）
- ・福井県共同募金会配分委員会委員（副会長）
- ・福井市社会福祉審議会委員（会長、事務局次長、地域福祉課長）
- ・福井市交通安全対策協議会（会長）
- ・「社会を明るくする運動」福井市推進委員会委員（会長）
- ・公益財団法人福井市ふれあい公社評議員（会長）
- ・公益財団法人ふくしん地域振興協力基金評議員（会長）
- ・福井市民生委員推薦会委員（理事）
- ・青少年育成福井市民会議監事（副会長）
- ・福井刑務所視察委員会委員（副会長）
- ・福井市国民健康保険運営協議会委員（理事）
- ・福井市功労者選考委員会委員（評議員）
- ・福井県共同募金会福井市共同募金委員会運営委員（専務理事）
- ・福井市不死鳥のねがい推進協議会常任委員（専務理事）
- ・福井市明るい社会づくり推進協議会常任理事（専務理事）
- ・福井市中央公民館運営審議会委員（事務局長）
- ・福井市住宅問題懇話会(事務局次長)
- ・福井市空き家対策協議会委員（地域福祉課職員）
- ・福井市要保護児童対策地域協議会委員(事務局次長、総務企画課担当職員)
- ・福井市放課後子ども総合プラン運営委員会委員（総務企画課担当職員、児童館長）
- ・福井市児童クラブ連絡協議会理事（総務企画課担当職員）
- ・福井市学校不適応対策事業推進会議委員（児童館長）
- ・福井市地域共生社会推進代表者会議（地域福祉課長）
- ・福井市地域包括ケア推進協議会委員（地域福祉課長）

- ・福井市健康づくり推進協議会（地域福祉課長）
- ・福井市地域福祉計画推進連絡会（地域福祉課担当職員）
- ・福井市介護予防・生活支援サービス検討委員会（地域福祉課職員）
- ・福井市認知症施策検討委員会（地域福祉課 GL）
- ・福井市成年後見制度利用促進連携協議会（事務局次長）
- ・福井市障がい者施策推進協議会委員（地域福祉課長）
- ・福井市障がい者差別解消支援地域協議会委員（地域福祉課担当職員）
- ・福井市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会委員（地域福祉課担当職員）
- ・福井市障がい者虐待防止ネットワーク運営委員会委員（地域福祉課長）
- ・福井市自殺対策協議会（地域福祉課職員）
- ・福井市障がい者自立支援協議会全体会委員（事務局次長）
- ・福井市障がい者自立支援協議会居宅生活支援部会委員（地域福祉課 GL）
- ・福井市障がい者自立支援協議会地域移行・地域定着部会委員（地域福祉課担当職員）
- ・福井市総合ボランティアセンター運営委員（地域福祉課担当職員）
- ・福井市災害ボランティアセンター連絡会座長、委員（事務局長、地域福祉課担当職員）
- ・福井市消費者センター運営協議会（地域福祉課職員）
- ・福井県内社協職員協議会役員（地域福祉課職員）
- ・ふくい桜マラソン実行委員会（会長）

2 後援・共催事業

- ・第 25 回 福井シルバーバレーボール交歓全国大会
- ・知的障がい者ユニファイドボウリング大会
- ・令和 4 年度 福井市空き家無料相談会
- ・みなぶたフォーラム vol. 2
- ・第 3 回 ボラ連杯レクレーションボッチャ 大会
- ・令和 4 年度 第 2 1 回福井市医師会市民公開講座
- ・第 9 回 足羽川ふれあいマラソン
- ・第 63 回 福井市あじさい元気クラブ大会
- ・第 23 回 福井県障がい者ハートフル文化祭
- ・令和 4 年度 福井市身体障がい者福祉大会
- ・第 11 回 福井県障害者フライングディスク大会
- ・第 44 回 ユニークダンスパーティー（コンサート）
- ・令和 4 年度 福井市空き家無料相談会（第 2 回）
- ・第 6 回 福井市あじさい元気カラオケ大会
- ・第 36 回 三世代合同のつどい
- ・特殊詐欺防止講演会
- ・第 4 回 ボラ連杯レクレーションボッチャ（東日本チャリティ）大会

3 社会福祉援助技術現場実習等の受け入れ

- (1) 福井県立大学 1 名
令和 4 年 9 月 28 日（水）～11 月 2 日（水）
社会福祉士受験資格修得のための実習

- (2) 福井市医師会看護専門学校 43名
自治会型デイホーム事業での実習
令和4年 8月17日(水) オリエンテーション 43名
// 8月18日(火) ~9月2日(金) 中止
(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

4 県外社協との連携の推進

- (1) 福井市・富山市・金沢市社協懇談会
開催日 令和4年12月16日(金)
開催方法 オンライン (Zoom)
参加者 16名(うち、本会職員5名)
内 容 全体会と分科会
分科会 ① 定年延長や定年退職者再雇用制度なども活用した職員の人材確保について
② 新型コロナ特例貸付終了後の生活困窮者への支援と人員体制について
- (2) 福井市・岐阜市・奈良市社協災害時における相互支援に関する協定研修会
開催日 令和4年11月18日(金)
開催方法 一乗公民館
参加者 19名(うち、本会職員6名)
内 容 研修会「福井市における災害対応の実際」等及び情報交換

VII 共同募金運動への協力

福井市共同募金委員会の事務局を担い、各種団体の協力を得ながら、赤い羽根共同募金運動を実施した。一般募金、地域歳末たすけあい募金の実績はいずれも、目標額に対しても、前年度実績に対しても下回る結果となった。新型コロナウイルス感染症予防対策の上、街頭募金を実施した。

【一般募金】

(単位:円)

募金の種類	目標額	実績額	差異額
戸別募金	10,800,000	10,552,896	△247,104
大口募金	7,000,000	6,297,257	△702,743
街頭募金	10,000	59,504	49,504
学校募金	700,000	612,781	△87,219
職域募金	2,350,000	2,211,522	△138,478
法人募金	1,340,000	1,248,594	△91,406
その他の募金	700,000	973,559	273,559
合計	22,900,000	21,956,113	△943,887

【地域歳末たすけあい募金】

(単位:円)

募金種類	目標額	実績額	差異額
街頭募金	-	156,205	-
合計	150,000	156,205	6,205